

楽に受けられ体にやさしい

鼻からの胃カメラ

経鼻内視鏡検査



早期発見、早期治療が大切
定期的に検診を受けましょう

鼻から入れる 胃カメラ(経鼻内視鏡)で 楽に検査を

胃や食道などの内部を検査する胃カメラは口から入れる経口タイプと鼻から入れるタイプがあります。従来の経口タイプは、管が太く(9.4ミリ)受けられる方にとって、「辛い・苦しい」などの負担がありました。これは、口から挿入された胃カメラが知覚過敏な咽頭部を通過する際に舌のつけ根を刺激し、吐き気や不快感を与えていたからです。

鼻から入れる胃カメラは、管が細く(5.9ミリ)舌のつけ根に触れる事なく検査部分に到達するため、吐き気を感じることはありません。検査中は医師とも普通に話せ、受けられる方に配慮した負担の少ない検査になっています。



鼻からの胃カメラ (経鼻内視鏡)検査の手順

問診 危険を回避するための事前チェック

- ・薬のアレルギーはありませんか？
- ・耳鼻咽喉科の先生から、鼻が悪いと言われたことはありませんか？
- ・肝臓が悪いと言われたことはありませんか？
- ・血液をサラサラにする薬を飲んでいませんか？

消泡剤を飲みます

- ・胃の壁をきれいにします



鼻腔に局所血管収縮剤を スプレーします

- ・出血をしにくく、鼻の通りをよくします



鼻腔の局所麻酔を行います

- ・鼻の痛みが押さえられ内視鏡が通りやすくなります
- ・局所麻酔ですから眠くなりません



経鼻内視鏡検査

- ・胃や消化管の検査をします



検査後すぐ、飲んだり食べたりすることができます

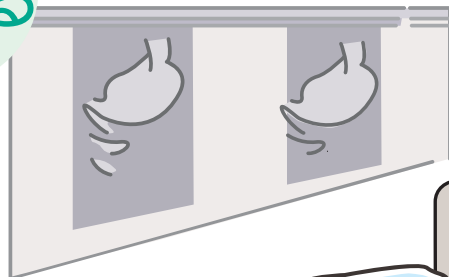
帰宅

- ・眠くなる麻酔は使わないので、すぐに仕事や日常生活に戻れます

鼻から入れる胃カメラ(経鼻内視鏡)検査のメリット

検査中に医師と同じ画面を見ながら話せます

話せる



直径5.9ミリの細いスコープで楽に検査します
従来のようなのどの痛みを訴える人が少ない

苦痛が少ない



鼻腔への麻酔だから体への負担が軽く、眠くなりません

麻酔事故のリスクが少ない

※個人差があります

スコープが舌のつけ根を刺激しません

嘔吐感が起きにくい

口からのスコープ

鼻からのスコープ

スコープの断面



直径9.4ミリ

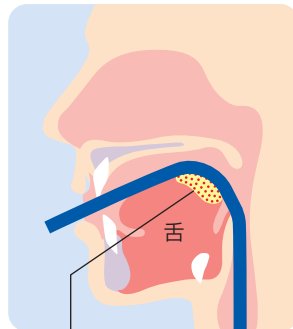


面積比
1 : 0.39



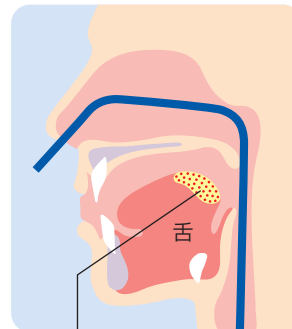
直径5.9ミリ

◆口からの(経口タイプ)
胃内視鏡



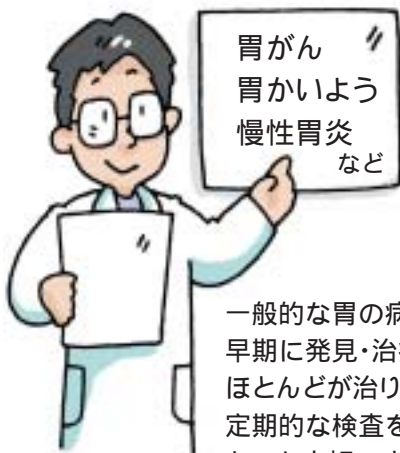
舌のつけ根にスコープが触れる
と吐き気を感じます

◆鼻からの(経鼻タイプ)
胃内視鏡



舌のつけ根にスコープが触れない
ため吐き気が感じにくくなります

< 一般的な胃の病気 >



一般的な胃の病気は
早期に発見・治療すれば
ほとんどが治ります。
定期的な検査を受けることが
とても大切です。

医師の診察の都合により口からのタイプを
お薦めする場合があります。
検査に関する問い合わせ等は、お気軽に
消化器科受付までご相談ください。



月曜から土曜の午前中は検査をお受けいただくことができます。
事前に予約されることをお薦めいたします。

 医療法人 社団 藤聖会 **八尾総合病院**

〒939-2376 富山市八尾町福島7-42
TEL(076)454-5000 <http://www.yatsuo.or.jp>